

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和7年2月17日(2025.2.17)

【公開番号】特開2021-171650(P2021-171650A)
 【公開日】令和3年11月1日(2021.11.1)
 【年通号数】公開・登録公報2021-053
 【出願番号】特願2021-71678(P2021-71678)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1 8 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

A 6 1 B 1 8 / 1 4

【誤訳訂正書】

【提出日】令和7年2月6日(2025.2.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

20

【 0 0 7 2 】

典型的には、バルーン68は、静脈158など狭い内腔内に配設されつつも(図4A~図4D)、標的領域162との接触を容易にするために、比較的細長い。例えば、バルーンの長さLは、典型的には1~3mmであるバルーンの最大断面径Dよりも、2~20倍大きくてよい(典型的には、Dは、中間部分68mの直径、又は少なくともその軸心の直径である。例えば、中間部分68mは一定直径Dであってよく、バルーンの近位部分及び遠位部分は、バルーンがその近位端及び遠位端においてその最小直径に達するように、可変直径である)。

30

40

50